## の開題を

出月十日 (日)

体感る

楽しむ

3

場山本能楽賞



平成28年度 大阪府芸術文化振興事業

後援:大阪市教育委員会

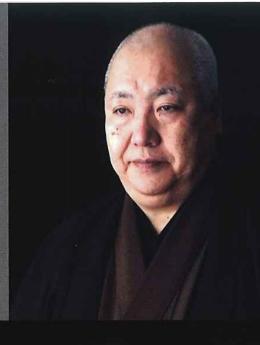
## うめわか げんしょう

【プロフィール】

伍拾六世 二代 観世流シテ方 日本藝術院会員 梅若六郎家56世現当主

1948年東京生まれ。1951年能『鞍馬天狗』子方にて初舞台、17歳で『道成寺』を披く。1979年 梅若六郎家当主継承。1988年伍拾六世梅若六郎を襲名。古典は基より能の復曲、新作能の上演に出演・ 演出するなど現代に生きる古典芸能としての能を支えている。海外への能の紹介にも意欲的に取り組み、 ベルギー、アメリカ、オランダ、フランス、ギリシャ、ロシア、台湾等に招聘されるなど、能の普及を 努めている。2008年、徳川初期に活躍した梅若家中興の祖である九郎衛門玄祥の名を後世に残すため、 345年ぶりに名跡復活、梅若六郎改め五拾六世 二代 梅若六郎玄祥を襲名。

1994年第1回證賣演劇大賞演出家部門選考委員特別賞受賞、1999年日本藝術院賞受賞、2006年 紫綬褒章受章、2007年日本藝術院会員拝命、2014年重要無形文化財指定保持者 (人間国宝) 認定。



小鼓 能 後シテ(鬼女 太 鼓 鼓 贫 吉兵衛 玄祥

雅 信 則 郎

○公演前に解説、終演後にアフタートークがございます。

## 【鉄輪】

夫に捨てられた女が恨みを晴らすために貴船神社へ丑の刻詣に参っていると、社人 から神のお告げを伝えられる。それは赤い着物を着て顔に朱を塗り、鉄輪 (五徳) を頭に 載せて、その三つの脚にロウソクを付けて火を灯せば、生きながら鬼と変じて恨みを 果たせるだろうというものだった。

一方、夫は夢見が悪いので陰陽師の安倍晴明を訪れて祈祷を頼む。晴明が夫と新妻の 人形を作って祈祷すると、先妻の生霊が現れる。生霊は人形に向かって恨みを述べ、 新妻の髪を手に絡め打ち叩き、さらに夫の命を取ろうと責め寄るが、晴明が呼び出した 守護の式神に追われ、呪いの言葉を残して立ち去る。

作り物 ワークショップ 能で使用する作り物 (小道具)を、 能楽師と一緒に製作します。

平成28年7月9日(土) 10:00~11:30

講師: 林本 大

●お申し込みは 山本能楽堂 公式サイトまで http://noh-theater.com

次回公演は

2月11日(土)を予定しております。 能「安達原」 シテ 梅若 玄祥

本 間国宝」 の方から見巧 「鉄輪<sub>-</sub> 公演に先立ちワークショップを開催させていただきます。参加をご希望の方は山本能楽堂公式サイトからお申込みくださいませ の 至芸 月は の 者 魅力を山本能楽堂でお の方まで 安達原 至芸の素晴 ともに能 れ

0

中

でも傑作とされ

の

らしさをご体感

ください

楽

舞台芸術 に お 最高峰 とさ

[入場料]

5000円 (全席自由)

※高校生以下 (未就学児の入場不可) は、ご招待。 (先着順・山本能楽堂 HP のみ取り扱い)

[チケット収扱い]

〇山本能楽堂

公式サイト

http://noh-theater.com

TEL

06-6943-9454

Oe+ イープラス 直接購入 http://eplus.jp | ファミリーマート

[会場・主催・お問い合わせ]

## 公益財団法人 山本能楽堂

(大阪市中央区徳井町1-3-6)

TEL 06-6943-9454 FAX 06-6942-5744



地下鉄谷町・中央線「谷町四丁目」駅下車 4番出口より徒歩約2分。谷町筋に沿って北へ。 1 筋目 (ホテルサンホワイト) 手前を左折。 一筋超えてすぐ左手。